

キャリアアップセミナー

専門部会セミナー

「糖尿病と植物療法～マルベリーを中心として」

JAMHA 認定有資格者の活躍の場を増やすことを目的とし、職業や専門分野を具体的に絞り込んだ一般の方からも人気の高いセミナーです。是非皆様のブラッシュアップにお役立てください。

参加費 会員5,000円 (JAMHA会員) / 一般8,000円

定員 50名 ※定員に達し次第締め切らせていただきます

大阪

2018年2月4日(日) 13:00～16:30(受付12:30～)

【会場】新大阪丸ビル別館

大阪府大阪市東淀川区東中島1丁目18-22

申込締切2018年1月19日(金)

※会場地図の入った参加票を1月23日頃お送りいたします

JAMHAからの挨拶 13:00～13:10

Program 1 13:10～13:40 糖尿病について

Program 2 13:50～15:20 マルベリー実践編

Program 3 15:30～16:30 質疑応答・パネルディスカッション



入谷 栄一

医師/
日本メディカルハーブ協会理事



野田 信三

工学博士/
日本メディカルハーブ協会学術委員

[パネリスト] 入谷栄一、野田信三、林真一郎(JAMHA副理事長)

糖尿病と植物療法 ～マルベリーを中心として～

40億年前に生命が誕生し、氷河期を何回も乗り越えてきた生物は、インスリンを働かせてできるだけ多くのエネルギーを身体に貯め、食べる物が無い時はそれをゆっくり使うという生体のメカニズムを作り上げて環境に適応してきた。食べ物のない環境ならばこのメカニズムは生命維持に有効なシステムとなるが、食べ物が豊かになって食べ過ぎる、あるいは運動しない環境にあってはマッチしない。生体のメカニズムと環境とのミスマッチが原因で発症するのが生活習慣病であり、糖尿病である。

糖尿病は血糖値が異常に高い状態が続く病気である。糖尿病に罹患したらインスリンを投与する治療、インスリンの働きを改善する薬を投与する治療、小腸における二糖類水解酵素(α-グルコシダーゼ)を阻害して糖の吸収を抑える薬を投与する治療が行われる。未病(未だ病気と判断しない)の状態では薬を投与することはなく、食事の量を減らすこと、運動をすることを指導する。しかし、この食事制限、運動療法を続けることはなかなか大変なことで、多くの人は挫折してしまうのが実情である。

毎日の生活の中に於いて予防することが大切で、植物療法(フィトセラピー)の素材として多くの植物が提案されている。糖尿病を予防する可能性を秘めているのがマルベリー、即ち桑である。日本が近代国家に成長できた源の養蚕を支えたマルベリーを、健康を支える食品素材の観点から紹介する。